

# 平成 22 年度 環境活動レポート

株式会社 サンアール

# 1. 会社概要

- ア). 会社名 株式会社 サンアール
- イ). 所在地 北海道函館市滝沢町 98 番地
- ウ). 代表者 代表取締役 時田 茂
- エ). 事業内容 産業廃棄物の中間処理
- カ). 事業の範囲

破砕(木くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、紙くず)  
 選別(木くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、紙くず、繊維くず、  
 金属くず、廃プラスチック類、ゴムくず、がれき類)  
 RDF の製造(木くず、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず)  
 圧縮(廃プラスチック類)  
 減容(廃プラスチック類)

## キ). 環境保全関係の担当者連絡先

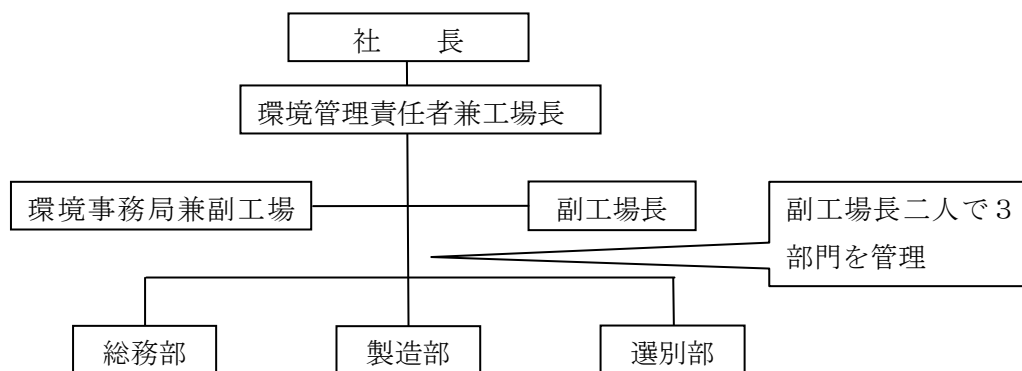
担当者 副工場長 時田 真一  
 Tel 0138-33-1505  
 Fax 0138-33-1507  
 ホームページ [http://www16.ocn.ne.jp/~rrr\\_3r/](http://www16.ocn.ne.jp/~rrr_3r/)  
 E-mail [rrr\\_3r@vanilla.ocn.ne.jp](mailto:rrr_3r@vanilla.ocn.ne.jp)

## ク). 事業の規模

活動規模	単位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
処 理 量	t	16,663	16,904	17,557	14,684
売 上 高	百万円	330百万円	315百万円	318百万円	306百万
従 業 員	人	35 人	35 人	35 人	35 人
床 面 積	m <sup>2</sup>	13,300 m <sup>2</sup>	13,300 m <sup>2</sup>	13,300 m <sup>2</sup>	13,300 m <sup>2</sup>

## ケ). 実施体制

### 組織図



# 環 境 方 針

株式会社サンアールは、産業廃棄物を中間処理するにあたって、次に示す誓約をすることによって、環境負荷の低減、そして循環社会の構築に向けて、環境への取組を実施します。

1. 地球環境保護への取組を、当社経営課題のうちの一つとして位置づけます。
2. 中間処理業務における最終処分廃棄物を減らし、リサイクル率の向上を目指します。
3. 当社業務における廃棄物を抑制します。
4. 当社事業活動に伴う法規制の遵守を徹底します。
5. 当社事業活動に伴う環境負荷の低減を目指します。
  - (ア) 電気使用量の削減
  - (イ) 水使用量の削減
  - (ウ) 燃料使用量の削減
  - (エ) 紙使用量の削減
  - (オ) グリーン購入の推進
6. 上記環境方針に沿った活動を行う為、月例会議等で全従業員に周知徹底し、全従業員で取り組んでいきます。

平成 18年4月1日

株式会社 サンアール

代表取締役 時田 茂 印

## 2. 投入エネルギー量

	単位	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
購入電力	MJ	7,453,902	10,359,129	12,786,982	13,455,697	12,162,620
化石燃料	MJ	2,608,588	3,302,969	2,606,148	2,606,148	3,517,509
新エネルギー	MJ	0	0	0	0	0
その他	MJ	0	0	0	0	0

## 4. 水資源投入量

	単位	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
上水	m <sup>3</sup>	929	1135	960	715	620
工業用水	m <sup>3</sup>	0	0	0	0	0
地下水	m <sup>3</sup>	0	0	0	0	0

5. 温室効果ガス排出量(平成 21 年度 CO<sub>2</sub> 排出係数 0.423kg-CO<sub>2</sub>/kwh 使用)

	単位	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
二酸化炭素	Kg-CO <sub>2</sub>	465,456	623,597	671,597	782,816	709,179

## 6. 受託した廃棄物の処理量

	単位	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
収集運搬量	t	0	0	0	0	0
中間処理量	t	17,563	15,243	15,129	16,225	14,690
うち再資源化等量	t	2764	2980	3927	982	325
最終処分量	t	0	0	0	0	0
中間処理後の産廃の処分量	t	14,711	11,964	10,970	15,046	14,022
うち再資源化等量	t	9,096	7,266	5,961	9,847	9,428

## 7. 廃棄物等総排出量

	単位	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
再使用	t	0	0	0	0	0
再生利用	t	2,514	2,026	1,344	1,127	935
熱回収	t	9,347	8,282	8,544	9,703	8,834
単純焼却	t	7	7	4	8	0
その他	t	0	0	0	0	0

## 8. 廃棄物最終処分量

	単位	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
最終処分量	t	5,615	4,698	5,009	5,199	4,594

## 9. リサイクル率

	単位	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
サーマルリサイクル	%	53	49	52	49	56
マテリアルリサイクル	%	15	23	17	19	13
最終処分	%	32	28	31	32	31

現状は約 7 割がリサイクルされています。

サーマルリサイクルの中には、木チップ、RPF などが含まれます。

マテリアルリサイクルの中には、金属、発泡スチロール、ダンボール、がれき類などが含まれます。

## 10. 環境への取組の自己チェックリスト (平成 22年4月)

## 1. 事業活動動へのインプットに関する項目

## 点数／満点

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| 1) 省エネルギー、新エネルギー使用の拡大 | 14 / 24 |
| 2) 省資源、グリーン購入         | 8 / 20  |
| 3) 節水、水の効率的利用         | 5 / 6   |

## 2. 事業活動からのアウトプットに関する項目

## 点数／満点

- |                                     |         |
|-------------------------------------|---------|
| 1) 二酸化炭素の排出抑制、大気汚染等の防止              | 27 / 28 |
| 2) 化学物質対策                           | 12 / 12 |
| 3) 受託した産業廃棄物の処理における環境配慮             | 51 / 72 |
| 4) 事務所等における一般廃棄物の排出抑制<br>リサイクル、適正処理 | 28 / 46 |
| 5) 排水処理                             | 4 / 6   |
| 6) 収集・運搬に伴う環境負荷の低減                  | 8 / 14  |

## 3. 環境経営システムに関わる項目

## 点数／満点

- |                      |         |
|----------------------|---------|
| 1) 環境保全のための仕組み・体制の整備 | 17 / 32 |
| 2) 環境教育、環境保全活動の推奨等   | 2 / 10  |
| 3) 情報提供、社会貢献、地域の環境保全 | 4 / 8   |
| 4) 環境ビジネス、技術開発       | 6 / 6   |
| 5) 国際協力及び海外事業における配慮  | 0 / 0   |

総合結果

186	/	284
-----	---	-----

## 11. 主要な環境活動計画の内容

- (1) 選別工程で使用する燃料の削減
  - ・選別工程の見直しをする。
  - ・重機の使い方の見直しをする。
  - ・重機車両等の無駄なアイドリングを禁止する。
  - ・急発進、急加速、空ふかしを禁止する。
  - ・使用量を3ヶ月に1度確認し、見直しする。
  
- (2) 中間処理工程で排出する最終処分量の削減
  - ・中間処理工程の選別精度は保たれているか。
  - ・中間処理工程の見直しする。
  - ・排出量を3ヶ月に1度、確認する。
  
- (3) 工場内で使用する電気使用量の削減
  - ・お昼や休憩時間の消灯、設備の電源を消す。
  - ・30分以上作業がない場合は設備の電源を消す。
  - ・破碎工程の作業集約化で短時間化を図る。
  - ・選別ライン工程の作業の効率化をする
  - ・破碎機等の機械類の空運転を防止する。
  - ・無駄のない作業スケジュールの作成をする。
  - ・デマンドコンローラの導入による、工場全体の電気使用量の把握をする。
  
- (4) 製造工程で使用する燃料の削減
  - ・お昼や休憩時間など、無駄のないように稼働させる。
  - ・作業効率が落ちないように工夫する。
  
- (5) 事務所で使用する用紙の使用量の削減
  - ・裏紙などを再利用する。
  - ・ミスコピー・ミスプリントなどをなくす。
  
- (6) 工場内の上水の使用量の削減
  - ・重機等の洗車は必要最低減にする。
  - ・走行型粉塵集塵機の導入により、散水作業を削減する。
  - ・粉塵防止の散水作業は効率よく行う。
  
- (7) グリーン購入の推進
  - ・事務用品を購入する場合、なるべくグリーン対象製品を購入するようにする

## 13. 環境目標と実績

	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (目標)	平成22年度 (目標)	平成22年度 (実績)	評価
① 選別工程で 使用する燃料の削減	L	63,826 (2.5%増)	77,073 (24.7%増)	77,073	71,527 (8%減)	◎
② 中間処理工程で 排出する最終処分量 の削減	T	5,010 (13.9%増)	5,200 (12.3%増)	5,200	4,597 (12%減)	◎
③ 工場内で使用する 電気使用量の削減	Kwh	1,297,812 (14%増)	1,368,840 (19.6%増)	1,368,840	1,237,296 (10%減)	◎
③ 製造工程で 使用する燃料の削減	L	19,431 (27%増)	18,567 (27.3%増)	18,567	20,552 (10.6%増)	×
④ 事務所で 使用される用紙の削減	枚	6,300 (91%減)	25,500 (62.5%減)	25,500	35,000 (51.2%減)	○
⑤ 全部門で 使用される上水の削減	L	960 (12%減)	715 (38%減)	715	620	○
⑥ グリーン購入の推進	%				51.7%	◎

## 14. 考察

## ① 選別工程で使用する燃料の削減

- データ実測の結果、昨年度よりは削減に成功した。

しかし、考察の結果、使用燃料の減少の原因は廃棄物搬入量の減少  
というのが大きな要因の一つとなっている

目標の設定方法を工場内の合計使用燃料から

廃棄物の総搬入量と重機の燃料の合計使用量（燃料効率）を

目標値に設定する

## ② 中間処理工程で排出する最終処分量の削減

- データ実測の結果、昨年度よりは削減に成功した。

しかし、考察の結果、①と同様に廃棄物搬入量が大きく影響してくる

ことから、次年度の目標設定を、廃棄物搬入量と最終処分量からの

残渣率を目標値に設定する。

- ③ 工場内で使用する電気使用量の削減
  - ・データ実測の結果、昨年度よりは削減に成功した。  
成形機ラインの改造により、故障率の低下がおおきな要因  
今後は更なる製造効率の向上に努める  
目標値は平成 22 年度を基準に 5%減を目標値に設定する
  
- ④ 製造工程で使用する燃料の削減
  - ・データ実測の結果、昨年度同様、削減には失敗した。  
考察の結果、①と同様に搬入量が大きく影響してくることから、  
次年度の目標設定を、発泡スチロールの搬入量と使用燃料からの  
製造効率を目標値に設定する
  
- ⑤ 事務所で使用する用紙の削減
  - ・活動計画の実施の結果、削減には成功した。  
データ採取が完了したので、平成 22 年度を基準年として  
5%減を目標値に設定する
  
- ⑥ 全部門で使用する水量の削減
  - ・活動計画の実施の結果、削減には成功した。  
平成 22 年度を基準年として 5%減を目標値に設定する
  
- ⑦ グリーン購入の推進
  - ・活動計画の結果、目標は達成した  
次年度は目標を 30%に設定する

## 15. 環境関連法規への違反、起訴等の有無

当処分場に適用される環境関連法規等への違反はありません。  
なお、関係当局より違反等の指摘は、過去 3 年間 1 件もありません。



## 16. 優良性評価制度の情報公開について

会員番号	567		
氏名又は名称	株式会社サンアール	代表者名（法人）	代表取締役 時田 茂
住所	〒041-0842 函館市滝沢町98番地		
電話番号	0138-33-1505	FAX 番号	0138-33-1507
URL	<a href="http://www16.ocn.ne.jp/~rrr_3r/">http://www16.ocn.ne.jp/~rrr_3r/</a>	E-mail	<a href="mailto:rrr_3r@vanilla.ocn.ne.jp">rrr_3r@vanilla.ocn.ne.jp</a>
設立及び営業 開始年月日	設立：平成12年11月07日 産業廃棄物処理業：平成16年04月05日		

資本金/出資金	3,000万円
会社履歴	平成12年11月07日 函館市に株式会社サンアール設立 平成16年04月05日 産業廃棄物処分業許可取得 平成16年04月05日 処分施設オープン 平成17年07月 資本金3,000万円に増資 平成17年12月 施設増設工事着工 平成18年05月29日 新工場稼動
役員の氏名 及び就任年月日	代表取締役 時田 茂（平成12年11月07日就任） 取締役 時田 まゆみ（平成16年06月30日就任） 取締役 時田 美和子（平成16年06月30日就任） 取締役 渡辺 宗尊（平成19年04月10日就任） 監査役 水上 正則（平成13年06月18日就任）

組織図	
職務分掌 及び 人員配置	ア 事務所（管理者、工場長、事務社員 2名） ・財務、営業、契約等事務全般  イ 工場（管理者、副工場長2名、社員5名、アルバイト従業員（20名～30名） ・選別、破碎、圧縮、減容、RDFの製造業務

<b>資格の取得状況</b>	
<b>産業廃棄物の処理その他環境保全技術に関する資格取得状況</b>	・ 破砕リサイクル施設技術管理士・・・2名
<b>講習会の受講状況</b>	●産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会処分課程（更新） 実施者：（財）日本産業廃棄物処理振興センター 修了日：平成19年10月19日 修了者：役員1名（修了証番号607130046）
<b>産業廃棄物関係講習会の受講状況</b>	

<b>財務諸表 *別途資料 【PDF】参照</b>	<b>貸借対照表</b>	共通様式	
		自社様式	
	<b>損益計算書</b>	共通様式	
		自社様式	

<b>料金</b>	別途資料のとおり。	
<b>地域緩和</b>	<b>事業所公開の有無</b>	有
	<b>公開の頻度</b>	随時
<b>ISO 及びエコアクション 21 等認証取得状況</b>	エコアクション21取得済み（認証・登録日 2009年12月2日）	

業の種類	許可区域 (積保の有無)	許可番号	取得年月日	有効期限	許可品目及び処理方法
<b>収集運搬</b>	産業廃棄物	北海道()			
	北海道 (旧小樽市)()				
	札幌市()				
	函館市()				
	旭川市()				

	特別管理産業 廃棄物	北海道( )				
		北海道 (旧小樽 市)( )				
		札幌市( )				
		函館市( )				
		旭川市( )				
中間 処理	産業廃棄物	北海道				
		北海道 (旧小樽 市)				
		札幌市				
		函館市	05220110410	2009-04-05	2014-04-04	破碎(廃プラスチック類,紙くず,木くず,ゴムくず,ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず) 選別(廃プラスチック類,紙くず,木くず,繊維くず,ゴムくず,金属くず,ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず,がれき類) 圧縮(廃プラスチック類) 減容(廃プラスチック類) RDF の製造(廃プラスチック類,紙くず,木くず,繊維くず,ゴムくず)
		旭川市				
	特別管理産業 廃棄物	北海道				
		北海道 (旧小樽 市)				
		札幌市				
		函館市				
		旭川市				

## (2) 処分業

中間処理施設の種類の種類	①破砕施設
取扱品目	木くず
設置年月日	平成16年3月19日
設置場所	函館市滝沢町98番2の一部 他
処理能力/稼働時間	32t/日(8時間)
処理方式	破砕
構造・設備の概要	破砕機、磁選機
環境保全対策等	集じん機設置、防音壁、2次破砕機室内設置

中間処理施設の種類の種類	②破砕施設
取扱品目	廃石膏ボード
設置年月日	平成16年3月19日
設置場所	函館市滝沢町98番2の一部 他
処理能力/稼働時間	68.16t/日(12時間)
処理方式	破砕(石膏・紙の分離)
構造・設備の概要	一次破砕機、二次破砕機、磁選機
環境保全対策等	防音壁、集じん機、室内設置

中間処理施設の種類の種類	③選別施設
取扱品目	廃プラスチック類
設置年月日	平成16年3月19日
設置場所	函館市滝沢町98番2の一部
処理能力/稼働時間	192t/日
処理方式	コンベア手選別
構造・設備の概要	選別シュート
環境保全対策等	選別ライン室内

中間処理施設の種類の種類	④破砕・選別施設
取扱品目	木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、紙くず、金属くず、廃プラスチック類、ゴムくず、がれき類

	(混合)
設置年月日	平成18年2月18日
設置場所	函館市滝沢町98番2の一部
処理能力/稼動時間	540t/日(12時間)
処理方式	機械選別及び手選別
構造・設備の概要	振動ふるい機2機、磁選機2機、選別ライン、投入クレーン
環境保全対策等	工場内換気装置・防音壁

中間処理施設の種類の種類	⑤圧縮施設
取扱品目	廃プラスチック類
設置年月日	平成18年4月27日
設置場所	函館市滝沢町98番2の一部
処理能力/稼動時間	16.84t/日(12時間)
処理方式	軟質系廃プラスチックの圧縮成型機
構造・設備の概要	圧縮プレス機(キューブ状に圧縮)
環境保全対策等	室内換気装置

中間処理施設の種類の種類	⑥減容施設
取扱品目	廃プラスチック類(発泡スチロール等)
設置年月日	平成18年4月27日
設置場所	函館市滝沢町98番2の一部
処理能力/稼動時間	2.4t/日(12時間)
処理方式	スチームによる溶融減容
構造・設備の概要	破砕機、溶融減容機
環境保全対策等	脱臭、脱煙、脱タール、室内設置、防音壁

中間処理施設の種類の種類	⑦破砕施設
取扱品目	木くず、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず
設置年月日	平成18年4月27日
設置場所	函館市滝沢町98番2の一部

<b>処理能力/稼働時間</b>	木くず・紙くず 52.896t/日(12時間)、廃プラスチック類・ゴムくず 26.496t/日(12時間)、繊維くず 39.696t/日(12時間)
<b>処理方式</b>	破碎(FPF、RDF製造ライン)
<b>構造・設備の概要</b>	一軸破碎、磁選機2機、投入ホッパークレーン
<b>環境保全対策等</b>	室内防音壁

<b>中間処理施設の種類の</b>	⑧RDF施設
<b>取扱品目</b>	木くず、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず
<b>設置年月日</b>	平成18年4月27日
<b>設置場所</b>	函館市滝沢町98番2の一部
<b>処理能力/稼働時間</b>	木くず・紙くず 59.1t/日(12時間)、廃プラスチック類・ゴムくず 53.496t/日(12時間)、繊維くず 44.304t/日(12時間)
<b>処理方式</b>	減容成型機
<b>構造・設備の概要</b>	RDF固形燃料の製造、ライン スクリューコンベア
<b>環境保全対策等</b>	室内防音壁

保管場所 の状況	保管場所名	設置場所	面積	保管上限量	保管品目

処理の実績		【平成 23 年 6 月 29 日更新】												
受入実績(平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月)(単位:t)														
廃棄物種類	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
木くず	535	557	601	488	331	543	475	364	381	158	308	625		
混合	625	579	603	565	494	541	573	542	589	266	365	495		
石膏ボード	115	130	121	81	99	89	88	68	67	51	71	99		
廃プラスチック類	206	183	207	201	154	156	165	185	188	110	151	222		
紙くず	15	3	9	8	14	13	14	7	12	6	6	7		
処分方法ごとの処理実績(平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月)(単位:t)														
廃棄物種類	処分方法	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
木くず・石膏ボード	破碎	724	766	763	673	583	630	638	554	568	271	420	643	
混合、廃プラスチック類	選別	957	758	805	761	645	695	734	725	774	380	512	713	
木くず、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず	RDFの製造	254	269	304	246	253	211	221	172	313	138	144	282	
廃プラスチック類	減容	0	13	4	22	4	13	13	13	0	13	12	0	
中間処理後の持出先・処理実績(平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月)(単位:t)														
廃棄物種類	持出先	処分方法	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
廃プラ、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	委託	安定型埋立	236	187	197	234	166	154	159	200	187	113	137	198
がれき類	委託	破碎	78	22	29	27	22	20	21	20	12	10	24	13
選別残さ(ダスト)	委託	管理型埋立	140	108	86	116	88	76	89	107	95	97	60	72
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(石膏)	委託	管理型埋立	127	145	138	114	109	106	102	75	90	63	80	101
廃プラスチック類	委託	焼成・焼却	1	0	31	26	10	9	10	19	9	9	8	17